

実践記録(小3・学級活動)

1 ねらい

テレビを長時間見ることによって生活のリズムが変化する危険性に気づき、節度をもって視聴できる。

2 手だて

話し合いに考えキャッチシートを活用する。

- (1) 自分の考えを記入する。
- (2) 付箋紙を活用して、意見交流を行う。
賛成…青 反対…桃 質問…黄 答え…緑
- (3) 貼られた付箋紙に矢印を付け、関連付けする。
- (4) 交流した意見の中から友達の良かった考えを選択する。
- (5) 選択した考えをふまえ、再度自分の考えをもつことで考えを広げ、節度あるテレビの視聴についての知識を得るとともに、見続けた場合の危険性を理解する。

3 実践の様子

児童の身近な内容から情報モラルについて学ぶことができるようにするために、プリント「テレビって楽しいな!!」を活用して話し合いを行った。内容は、主人公が友達の依頼に応え、テレビを見続けるべきか、母親との約束を守るべきかについて書かれている。

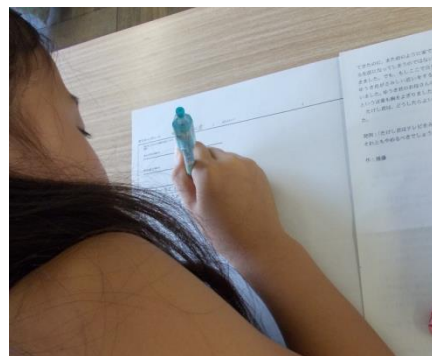
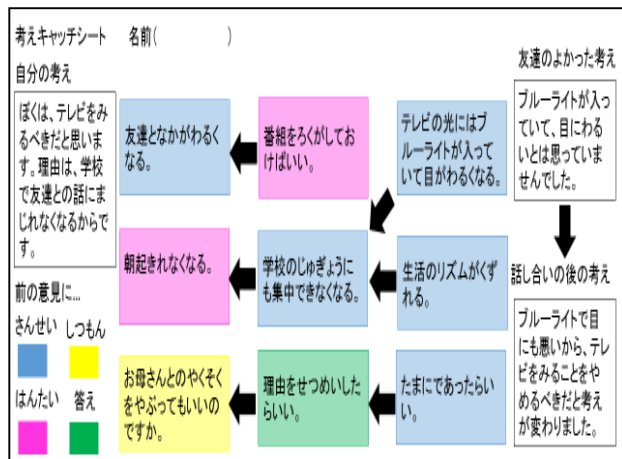
児童はそれぞれの立場で考えをもっていた。自分の意見を広げたり深めたりするために、考えキャッチシートを活用した。考えキャッチシートとは、自分の意見に対して、友達が付箋紙に考えを書き、矢印を使って関連付けさせることで、意見交流を行い、自分の考えを広げたり深めたりすることができるシートである。

考えキャッチシートを使って、グループで話し合わせたところ「友達との仲が悪くなるからテレビを見るべきだ。」という意見が出た。[資料1]それに対して他の児童は、「友達は大切だから賛成。」「体に良くないから反対。」「母親との約束は守らなくてよいのか。」などの意見を付箋紙に書きながら、話し合っていた。「見るべき」という考えを述べた児童は、友達の考えを聞きながら、「確かにそうだね。」と考えを広げる様子が見られた。[資料2]

その後、児童は「体に悪いからやっぱりテレビを見ることをやめるべきだと思った。」と考えキャッチシートに記していた。その様子から、児童は、友達と考えを交流することで、考えを広げたり深めたりすることができた。

4 成果と課題

- 考えキャッチシートを活用することで、自分の考えを述べるだけでなく、賛成・反対それぞれの立場の考えを聞くことで、自分の考えを広げたり深めたりすることができた。
- テレビの見方について取り上げたことで、長時間の視聴が生活のリズムに変化を起し、健康に害をもたらす危険性に気付くことができた。
- 考えキャッチシートに記入することに時間がかかったため、考えキャッチシートをより効率的に進める方法を考える必要があると感じた。



[資料1 考えと理由を書く児童]



[資料2 考えを広げる児童]